

WordPress 1

Bootstrap社サイト編

ver1

主な目的

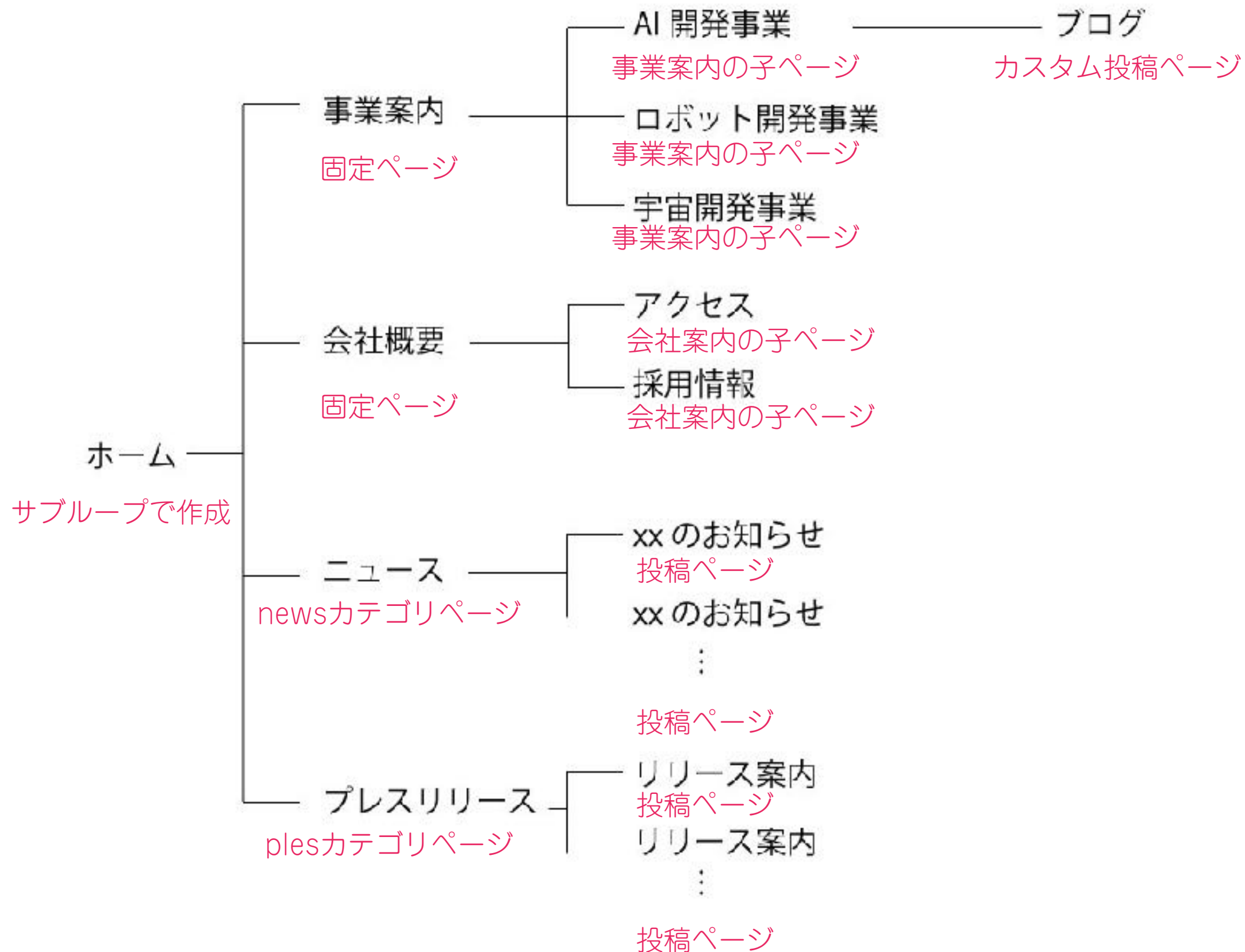
- Bootstrap社（仮想）のサイトをWordPress化します。
- Bootstrap社のサイトはhtmlとcssで構築されています。
またbootstrap4を活用してデザインされたものです。
- WordPress化はできるだけ現在のデザインを維持したままクライアントが独自に記事を更新しやすい仕組みにします。

Bootstrap 4

Bootstrap 4 の使い方は以下アドレスを参照ください。

<https://getbootstrap.com/docs/4.0/getting-started/introduction/>

ページ構成



手順

WordPressインストール

1. 空のデータベースを作成します。データベース名を後で使用します。
ユーザー名はroot、パスワードは無しです。(MAMPのパスワードはroot)
2. WordPress.org日本語サイトからダウンロードしたzipファイルを展開すると、「wordpress」というフォルダができあがります。このフォルダの名前を「wp」に変更してXAMPPのhtdocsの中に移動します。
3. <http://localhost/wp/>のアドレスでインストール画面になります。
4. MySQLのデータベース情報を「データベース名」「ユーザー名」「パスワード」「データベースのホスト名」の各設定欄に入力します。

* 今回記事の画像もインポートしますのでフォルダ名は「wp」としてください。

設定画面の例



以下にデータベース接続のための詳細を入力してください。これらのデータについて分からない点があれば、ホストに連絡を取ってください。

データベース名

WordPress を作動させるデータベースの名

ユーザー名

MySQL のユーザー名

パスワード

…そして、あなたの MySQL パスワード。

データベースのホスト名

もし localhost という値では動かない場合、ホスティングサービスから情報が入手できるはずです。

テーブル接頭辞

ひとつのデータベースに複数の WordPress をインストールしたい場合、これを変えてください。

送信

記事のインポート

- 1.ダッシュボード左のメニューから「ツール」→「インポート」
- 2.インポートは「WordPress」を選択し、プラグインのインストールを行ったあとにインポートするファイルを選択。
- 3.bootstrap.wordpress.2017-10-12.xmlをインポートします。
ファイル名は変更する場合もあります。インポート用のxmlファイルが無い場合は講師に確認してください。
- 4.ユーザー名を指定します。
- 5.「添付ファイルをインポート」にチェックを入れてsubmitボタンを押します。

テーマ作成に最低必要ファイル

bootstrapフォルダを新規作成します。

2つのファイルを「bootstrapフォルダ」に格納して以下のアドレスにアップロード

bootstrapフォルダ

index.php

style.css

<http://localhost/wp/wp-content/themes/>

テーマ作成準備

1. index.htmlの拡張子をphpに変更する
2. style.cssファイルを用意(index.phpと同一階層)
3. ページのスクリーンショットを用意(screenshot.png)
サイズ880x660ピクセル
4. style.cssファイルにテーマ名を記述
5. テーマのフォルダ（bootstrap）を用意して1、2、3を入れる。
6. 独自テーマのフォルダを/wp-content/themes/にアップロードする

スタイルシートのコメント

Theme Name: テーマの名前（必須）

Theme URI: テーマのURL

Description: テーマの説明

Author: テーマの作者

Author URI: 作者のURL

Version: テーマのバージョン

Tags: テーマにつけられたタグ

style.cssコメント記入例

```
@charset "UTF-8" ;

/* Theme Name: Bootstrap

Theme URI: http://aaa.bbb.ccc

Description: Bootstrap社のテーマ

Author: Tarou Ikebukuro

Author URI: http://aaa.bbb.ccc

Version: 1.0.0 */
```

テーマの設定

作成したテーマを有効にします。

The screenshot shows the WordPress dashboard with the 'Appearance' menu selected. The 'Themes' section is active, displaying a list of themes. A notification at the top states: '新しいテーマを有効化しました。リートを表示する' (Activated a new theme. Click here to view the list). The themes shown are:

- Twenty Fifteen**: A theme with a dark header and a large image of coffee beans. It is currently active, indicated by the text '有効: Isekuro Cafe' and a 'カスタマイズ' (Customize) button.
- Twenty Fourteen**: A theme with a dark header and a large image of a sunset over a field.
- Twenty Thirteen**: A theme with a light header and a large image of a sunset over a field.

At the bottom, there is a dashed box with a large plus sign and the text '新しいテーマを追加' (Add new theme).

テーマ有効後の問題点

CSSと画像がリンク切れ状態になる

ロゴ Cafe Ikebukuro

焙煎が違うこだわりのコーヒー

- [ホーム](#)
- [焙煎立ての豆のこだわり](#)
- [ニュース](#)
- [メニュー](#)

Cafe Ikebukuroへようこそ

-
-
-
-



-
-
-
-

2003年のオープン以来、空間や食事を通して、あらゆるストレスから解放されていく「プロセス」を体験できるカフェスペースを提供しています。オーガニック野菜や豆をたっぷり使用し、じっくり手間ひまをかけてつくられたヴィーガンフードをクイックにサーブ。デザート類の素材にもこだわり、タルトやマフィンなど多数取り揃えています。

デザート

Cold dessert

夏みかんゼリー

夏みかんを使用したデザートの登場です。

CSSとイメージのパス修正

CSSのファイル名の指定方法

```
<?php echo get_stylesheet_uri(); ?>
```

イメージのパス設定

```
<?php echo get_template_directory_uri(); ?>/ファイル名
```

注意: 末尾にスラッシュ（ / ）は書き出されませんので自分で / を記述する必要があります。

bootstrapのCSSリンク

bootstrapのcssリンクはstyl.cssの上に以下のように記述します。

```
<link rel="stylesheet" href="<?php echo  
get_template_directory_uri(); ?>/css/bootstrap.css"  
>
```


パスの修正記入例

CSSのファイル名の指定方法

```
<link href="<?php echo get_stylesheet_uri(); ?>" rel="stylesheet" type="text/css">
```

イメージのパス設定

```

```

テンプレートファイルの部品化

header.php

page.php
single.php
front-page.php
index.php

footer.php

Topページと下層ページで共通して使用されるパーツの部品化ができます。

共通部分をひとつのファイルに記述して

TOPページや下層ページから読み込む方法です。

HTMLタグのキリの良いところで切り取る必要はない。好きな場所で切り取ることができます。

テンプレートの分割

index.phpからヘッダーとフッター部分を分割します。

必要ならsidebar.php

index.phpの分割



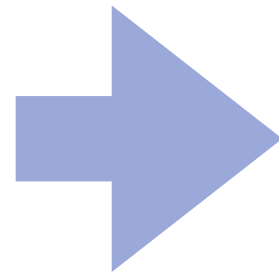
header.php
footer.php

インクルードタグ

header.php

```
<?php get_header(); ?>
```

footer.php



```
<?php get_footer(); ?>
```

sidebar.php

```
<?php get_sidebar(); ?>
```

WordPressでテンプレートとは

- テンプレートとは、WordPressサイトをどのように表示させるかをコントロールするファイルです。
- 例えばtwentyfourteenフォルダ内のpngファイルとcssファイル以外のもの全てのファイルのことです。
- テンプレートファイルは、好きなだけ自由に定義できるようになっていきます。

index.phpとかsingle.php、page.phpなどすべてのファイル

テンプレートタグ

テンプレートタグはWordPressに何かを実行あるいは取得するように指示するものです。

PHPタグ<?php ?>とワードプレス関数を合わせたものです。

```
<?php bloginfo(); ?>
```

テンプレートタグ～インクルードタグ

ヘッダーテンプレート

```
<?php get_header(); ?>
```

サイドバーテンプレート

```
<?php get_sidebar(); ?>
```

コメントテンプレート

```
<?php comments_template(); ?>
```

フッターテンプレート

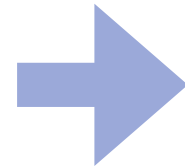
```
<?php get_footer(); ?>
```

任意のテンプレートファイル.phpの呼び出し（ファイル名を自由に決めれる）

```
<?php get_template_part('*') ?>
```

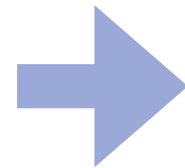
インクルードタグの引数を入れる

`get_sidebar()`



`sidebar.php`

`get_sidebar('top')`



`sidebar-top.php`

headerとfooterのお約束

</head>の前に以下のテンプレートタグを入れます。

```
<?php wp_head(); ?>
```

</body>の前に以下のテンプレートタグを入れます。

```
<?php wp_footer(); ?>
```

表示の確認

サイトを表示で確認

投稿ページの表示を確認

固定ページを表示を確認



どれもindex.phpが表示される

しかも、投稿した記事が全くみれない！

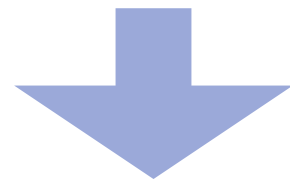
問題点

WordPressのテーマとして表示できた。

- 1.そもそも投稿した記事が見れない
- 2.Homeページも投稿ページも固定ページもどれもindex.phpで表示されてしまう。
- 3.ナビゲーションはどうしたらいいの？

問題解決のための大きな方針

1. 投稿記事を表示するにはWordPressテンプレートタグを使用します。
2. どのページもindex.phpが表示されてしまう問題を解決するにはテンプレート階層の仕組みを利用してそれぞれ別のファイルで表示します。
3. ナビゲーションの仕組みはWordPressのカスタムメニューの仕組みを利用します。



まず、 2 の問題解決から入ります。

テンプレート階層とは？

どのページでどのテンプレートファイルを使用するか？

テンプレート階層というルールで決められています。

トップページ front-page.php

投稿記事ページ single.php

固定ページ page.php

アーカイブページ archive.php

必要なテンプレートファイルが存在しない場合はindex.phpが使用されます

参考 テンプレート階層.pdf

page.phpの作成

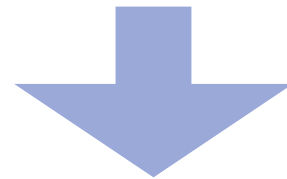
page.phpを作成して固定ページ専用のテンプレートを作成します。

1.page.htmlをpage.phpにリネームして、作成しているテーマフォルダにアップロードする。

2.page.phpとindex.phpの共通部分(header.phpとfooter.php)を削除してインクルードタグで記述

bodyのclass

bodyにクラス名をつけて、シグネチャーを利用してデザインしたい。



クラス名を動的に変更する方法があれば解決

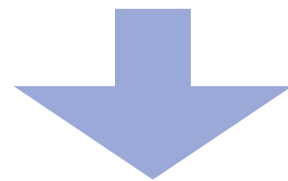


```
<body <?php body_class(); ?> >
```

WordPressが吐き出したクラス名にあわせてCSSを編集

参考

bodyのクラス名を自作のPHPで書き出す。



```
<body class="<?php echo ( is_front_page() ? 'top' : 'etc' ); ?>">
```


参考 if文

```
<?php if(条件A): ?>
```

条件Aが満たされた場合に実行する処理

```
<?php elseif(条件B): ?>
```

条件Bが見たされた場合に実行する処理

```
<?php else: ?>
```

条件ABも満たされない場合に実行する処理

```
<?php endif; ?>
```

条件分岐タグ

if文の中の条件判定で使用するWordPressの便利なタグを条件分岐タグといいます。

主な条件分岐タグ

タグ	説明
is_home	ブログのメインページが表示されていたら
is_front_page	サイトのフロントページが表示されていたら
is_page	固定ページが表示されていたら
is_category	カテゴリページが表示されていたら
is_tag	タグページが表示されていたら
is_search	検索結果ページが表示されていたら